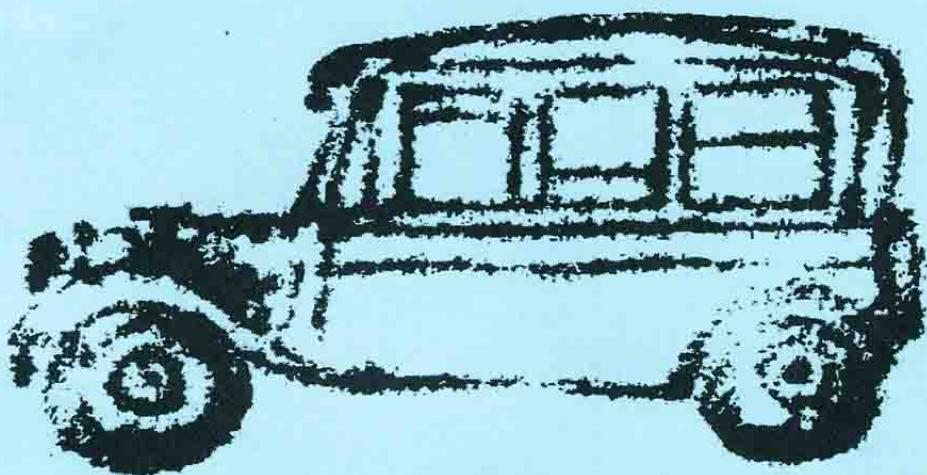


流星



流星 第 22 号 (OB 会誌 9 号)

目次

- 卷頭言 「はやぶさ」再突入カプセルの帰還を祝す
所感 会長就任 1 年を振り返って
新主将挨拶
新 OB 会担当挨拶
新入部員挨拶
自動車部 21 年度活動・会計報告
OB 会 22 年度活動・会計報告
OB 会 23 年度役員人事、活動計画、予算
特別企画 1 2010 年 KIT ナイトラリー詳報
　　KIT ナイトラリーオフィシャルサポート
2 OB 会ホームページ開設にあたって
　　九工大自動車部 OB 会 HP 開設の想い
3 特別顧問徳尾三郎氏 JAF 名誉会員称号受賞
予告 平成 23 年総会準備状況
会員名簿
編集後記

題字 河村 先生 (元部長)
イラスト 伊東 (子 44)

部顧問	平木	准教授	2
会長	木村	(機 36)	3
新主将	渡辺	(機 2 回生)	4
OB 会担当	飯田	(機 2 回生)	4
現役担当			4
総務・会計	嘉村	(化 33)	5
自動車部 OB 会担当	飯田		6
山本	(制 46), 近藤	(制 54)	8
OB 会会長	木村	(機 36)	9
HP 担当	近藤	(制 54)	10
編集部			11
九州地区幹事	山本	(制 46)	12
			13
			15

「はやぶさ」再突入カプセルの帰還を祝す



部顧問 平木 准教授

今年は私にとって記念すべき年となった。

計画当初から開発に携わった小惑星探査機「はやぶさ」の再突入カプセルが、この6月に7年に亘る宇宙の旅を終えて無事帰還したからである。小惑星に着陸して表面の岩のかけらを地球に持ち帰るというプランを、今から17年前に最初に聞いたときは「そんなこと本当にできるのか？」と半信半疑だったことを今でも覚えている。当初の計画では、今から3年も前に地球に戻ってくる予定だったものが、数々のトラブルに見舞われた結果、今年の帰還となったのだ。満身創痍になりながらも根性で地球を目指す様は多くの人々の共感を呼び、いつしか「はやぶさ君」と呼ばれるようになって帰還を心待ちにされていたことは当時全く想像できなかった。それはやぶさ君も、あと少しで地球というところで、いわゆるエンジンに相当するイオンスラスターに致命的な故障が発生したため、再突入カプセル分離後オーストラリア上空で火の玉に包まれてその長い旅を終えた。その様子はテレビ中継されて、人々に感動を与えたのは記憶に新しい。

火の玉に包まれてまるで太陽のようにギラギラと輝くはやぶさ君のすぐ下で、同じように輝く小さな星のように見えていたのが再突入カプセルである。小惑星から持ち帰ったサンプルはわずか直径40センチのカプセルの中に大事に仕舞われ、迫りくる激しい熱の嵐から分厚い鎧でサンプルを護る役割を果たしたのが再突入カプセルであった。どのように護ったかというと、自分の表面を燃やしそれを次々と放り捨てながら、最後にはごくわずかの衣をまとうだけになるという捨て身の戦法である。月に行って帰ってきたアポロカプセルと同様の戦法ではあるが、相手にする熱は圧倒的にはやぶさカプセルの方が厳しかったため技術的には難しかった。燃えながらバラバラになっていくはやぶさ君の横をさっそうと駆け抜けていくカブ

セルが燃え尽きずに無事帰還できるか、内心ハラハラドキドキであった。

カプセルの仕事はそれだけでは終わらない。夜の砂漠の闇の中にひとりぼっちで降り立った自分を見つけてもらわなければならない。カプセルは、パラシュートを開いて降下を始めた直後にビーコン電波を発信するように仕組まれていた。この電波を地上の複数地点で受信すれば、発信源の位置を同定できるという、これまたごく簡単な手法である。カプセルの重量はわずか18kgで、複雑なシステムを組み込む余裕はなかったが、設計寿命をはるかに超えて正常に動作したのは、このように単純な機能に徹していたためだとも言うことができる。

カプセルが無事発見されたことは、電話を通してリアルタイムに近い形で知ることができた。興奮していたのか、なかなかその晩は寝付くことができなかった。ごく最近のニュースによれば、コンテナの中には $5\mu\text{m}$ の微粒子が900個以上確認されている。これらの粒子が小惑星のものか、それとも地球のものかについての確認作業が現在慎重に行われているとのことである。もしも小惑星由来のものが見つかったならば、世界初の偉業達成となる。

我らがカプセルの中には一つの秘密があった。実は、このカプセルは私達にとってのタイムカプセルでもあった。はやぶさ打ち上げの前に、開発に携わった人間の名前を連ねたプレートを密かに内部に貼り付けておいたのである。7年後再会したプレートは貼り付けた当時とまったく変わらぬフレッシュな姿を保っていた。それに比べて今の自分の姿は……。

宇宙では年は取らないらしい。

了

会長就任一年を振り返って



自動車部 OB 会会長 木村 (機 36)

早いもので、平成 21 年開催の自動車部 OB 会総会で会長に就任して一年が過ぎました。この間、OB 会としての最大のトピックスは、自動車部 OB 会公式 HP の立ち上げでした。HP の作成については、会員間で色々な考え方が提案され、メールを通じて討議されたが「費用を抑えて」と「早く」を優先する形で、既にプライベートに立ち上げてあったものを活用する事としました。7月 3 日に第 1 回の HP 立ち上げ検討会がスタートし、10月 16 日の第 4 回の検討会で会長として私も出席し最終案としたものです。この間、立ち上げ有志の方々には、現役としての会社業務遂行の傍ら、多大のご負担をお掛けした事を心よりお礼申し上げます。また、HP 作成の目的は、会員相互の情報交換と活動の活性化、現役自動車部への活動支援、更に ACK との連携、互恵関係の強化等、幅広く活用できるようにと考えました。更に現役自動車部の HP や全日本学生自動車連盟 HP 等にもリンク出来ることにより、広範囲な情報入手に役立つものと思われます。この HP は現時点では決して完璧なものとはいえないし、また適切にメンテナンスをしないと有効に活用されない恐れが十分あるので、立ち上げ有志の方々には引き続きお世話をお願いすると共に、会員の皆様にも積極的に情報、意見等を出して頂くようお願いします。さて、この HP に掲載の流星号の写真は、昭和 33 年校内で富田先輩（32 年度幹事）から 2 年生が運転指導を受けている所を撮影したものです。流星号は寄る年波に勝てず、昭和 36 年 3 月 12 日に廃車式が行われ、OB、現役多数がお別れをしました。また、私の日記では、昭和 41 年 1 月 14 日（土）に明專会館で自動車部 OB 会総会に出席とあり、これが最初の OB 会結成であったと思いますが、残念ながら資料も記憶も確かでありません。この総会も、嘉村先輩の自動車部に対する篤い思いと情熱で開催され、OB 会の最初の火種が灯されたものです。その後幾

多の困難を克服して、今日の盛大な OB 会活動に至ったものであり、我々は最初に井戸を掘り、粘り強くメンテした人の、勇気と情熱と苦労を忘れてはならないと思います。

現在の 1 つの懸案は現役自動車部への支援のあり方です。上記 HP を通じて情報交換と理解が進むとは思いますが、やはり対面しての交流会での意見交換が効果的であろうと思います。今年も 5 月に交流会が開催されましたが、丁度 GW と重なり出席できませんでした。出来れば GW とか年末を外して開催できないだろうか。また、2 年毎の総会の開会前に 2~3 時間とて交流会を開催し、参加者は早めに到着するように出来ないだろうか。次回の九州支部総会実行委員会で検討をお願いしたいと思います。

先日、嘉村記念賞を受賞されたいすぐ自動車の高原正雄氏の講演を聴く機会がありました。長年に亘り、自動車の高信頼性設計技術の開発に取り組まれた成果が受賞に繋がったもので、中でも超軽量、超寿命の新 V 型エンジンの開発中、クランクシャフトの強度に不安を感じ、困難を押して 5,000 回転で運転中の応力を直接計測し、計算以上の応力がかかっているのを発見、量産前に急遽設計変更し事なきを得た等の話を感動しながら聴きました。また、全日本学生フォーミュラ大会委員長としての活躍もあり、個人的にフォーミュラに関するお話も聞くことが出来、昔を思い起こして懐かしく感じました。

一方、最近の新自動車技術の動向はレアメタル、レアアースを使った高性能電池や小型強力なモーターの開発、更にこれらを制御する IT 技術開発を指向しており、環境問題を考えるとこれも今日のあるべき姿だと判っていても、一抹の寂しさを感じるのは老年性ノスタルジーのせいかも知れません。

これからも若い会員諸氏からエネルギーを補給して貰い、微力ながら会の発展に尽力したいと考えています。了

OB の皆様へ

責善会自動車部主将 渡辺 (機械 2回生)

先輩の皆様には、ご清勝のこととお喜び申し上げます。

私は九州工業大学自動車部第 70 代主将を務めさせていただきます機械 2回生の渡辺裕介と申します。主将という大役をまかせていただき光栄に思うとともに、部を導いていかなければならないという使命感をひしひしと感じております。

入部したころは何も知らなくて、先輩方に指導をしていただくばかりでしたが、今度は先輩方が積み

上げてきた伝統、技術を自分達で伝えていかなければならぬのだと思っております。

まだまだ青二才の自分ではありますが、部員全員で協力し、獅子奮迅して部を盛り上げたいと思っております。

今後とも先輩方の助言、ご援助をよろしくお願いします。

最後に先日のラリーのオフィシャルに来ていただいた OB の皆様に重ねてお礼申し上げます。

=====

— 新OB 担当 —

飯田 (機械 2回生)

昨年に引き続き OB 担当をさせていただきます。機械知能工学科 2回生飯田慶と申します。今年度はラリー委員長と兼任して、重要な役職に就かせていただき光栄に思います。

今後「流星」、OB 会に関する自動車部の窓口は私が担当させていただきます。よろしくお願いします。

=====

— 新入部員挨拶 —

坂元 (電気)

原 (電気)

自分が、自動車部に入部した理由は、幼い頃から車に興味があったことが 1 番大きな理由です。秋の学生ジムカーナに出場しましたが、完走出来なかったので、たくさん練習して先輩方に追いつき、追い越したいと思っています。そのためにも自分の車を手に入れて頑張りたいとおもっています。

私は大学では高校とは何か違ったことをしたいなと思い入学しました。何か部活に入ろうと思っているときに誘われたのが自動車部でした。自動車部なら機械の整備などもでき、車に乗るのはかっこいいと思って体験に行きました。そこでは車を整備している先輩方がたくさんいて圧倒されました。そして先輩方に優しく指導して頂いたのでこの部活に入部することを決意しました。この部活では自分の車で楽しく運転していきたいと思っています。

自動車部 2010 年活動

- | | |
|---------------------|--|
| 3月 追い出しコンペ | 10月 秋季全九州学生ジムカーナ大会 |
| 4月 入学式・部員勧誘 | 11月 第 48 回 ACK・KIT NIGHT RALLY
工大際(たこ焼き屋) |
| 5月 ACK SPRING RALLY | |
| 6月 春季全九州学生ジムカーナ大会 | 12月 忘年会 |

2011 年活動計画

- | | |
|---------------------|--|
| 1月 ACK 餅つき | 7月 ラリー(ACK 主催: 名称未定) |
| 3月 追い出しコンペ | 10月 秋季全九州学生ジムカーナ |
| 4月 入学式・部員勧誘 | 11月 第 49 回 ACK・KIT NIGHT RALLY
工大際(たこ焼き屋) |
| 5月 ACK SPRING RALLY | |
| 6月 春季全九州学生ジムカーナ | 12月 忘年会 |

OB会 22年度活動報告、決算報告

OB会事務局(会計) 嘉村 (化33)

【平成22年度(21年10月-22年9月)活動報告】

21年12月；流星22号発刊

22年3月；部活動援助費送金(OB会計20,000円・部活動会計より30,000円)

4/29；北九州市戸畠区にて現役との懇親会開催

6/12；九州地区OB会・総会準備会

7/3；第1回自動車部OB会ホームページ(HP)立ち上げ検討会開催

8/7；第2回自動車部OB会HP立ち上げ検討会開催

；第2回九州地区OB会総会準備会

9/25；第3回自動車部OB会HP立ち上げ検討会開催

—OB会役員人事・活動計画・予算案—

OB会 23年度役員人事・活動計画、予算

OB会事務局(会計) 嘉村 (化33)

平成22年6月19日付のメール役員会で以下承認。

本部役員		
会長	木村	(機36)
副会長	野口	(機38)
"	木庭	(機43)
会計	嘉村	(化33)
会計監査	川越	(化47)
会誌担当	武地	(機II 51)
名簿担当	松元	(機55)
現役交流	中西	(力50)新
HP担当	近藤	(制54)新

地区役員			
九州地区	幹事	伊東	(子44)
	副幹事	山本	(制46)
	副幹事	柴田	(化45)新
関西地区	幹事	木庭	(機43)
	副幹事	山崎	(電49)新
	幹事	中野	(キ25)
中京地区	副幹事	高橋	(電38)
	副幹事	河野	(制49)
	幹事	門司	(金37)
関東地区	副幹事	宮崎	(機39)

【平成 23 年度活動計画】

- 22 年 12 月 流星 2 3 号発行
12 月 餅つき会（現役との交流）
23 年 3 月 部活動援助費送金
3・10 月 総会準備会開催
10/22 第 6 回自動車部 OB 総会（八幡ロイヤルホテル）

予算案の説明

前年度までは、部活動援助費は一度 OB 会会計でプールして毎年 3 0 0 0 0 円ずつを現役に送金していたが今年度からは、その年度の振替総額を 3 月 3 0 日に一括送金し替わりに OB 会からの「現役援助費毎年 2 0 0 0 0 円」を中止する。

部活動援助会計は閉鎖する。

現役との交流費は、前年度までは「総会の無い年」隔年一回だったが今年度から毎年行う。

2010 第 48 回 KIT ナイトラリー詳報



第48回ACK・KIT NIGHT ラリーが2010年11月13日～14日に開催され、無事に終了いたしましたので、報告します。

大分県日田市上津江にあるオートポリスをスタート・ゴールにして、SS（スペシャルステージ）と林道を使用した指示通りに正確さを競う計算ラリーを組み合わせた総移動距離100kmのラリーです。計算ラリーといつても、設定はかなりのハイアベでドライバーの技量も試される設定です。

今回の参加台数は、17台（Cクラス3台、Bクラス5台、Aクラス3台、シニア1台、オープン5台）と寂しいですが、学生選手権もかかっており6チームの学生が参加しました。

1stステージは、オートポリスのレイクサイドコース使った4本のSSラリーを行いました。事故もなく皆さん元気に走っておられました。この1stステージでラリーをリードしたのは、シニアクラスの七田選手でSS 4本を295秒で走りました。2位は、学生選手権にエントリーしている笠原選手が11秒遅れでBクラスながら健闘しています。3位はCクラスの福田選手がさらに5秒遅れと接戦です。

2ndステージでは、上津江、中津江、前津江の林道を使用した全10チェックポイントです。1stステージで3位だった福田選手がハイアベ区間でいきなりリタイヤです（クルーは無事でした）。正確さが求め

られる2ndステージは、経験豊富なベテランが好成績を収め、学生は苦戦です。

結局、学生選手権を制したのは2ndステージをしっかり纏め総減点を362秒に抑えた九州大学の岩間選手。2位は、1stステージ学生1位ながら2ndステージの減点が響いた笠原選手が60秒差で続き、3位は原選手がさらに29秒差でした。

今回のラリーを開催するにあたり徳尾三郎さんをはじめとするACKの皆様には、全面的協力をしていただき、ありがとうございます。OBの皆様も遠くは関東の方から来られ協力して頂き、ありがとうございました。



学生選手権表彰式

KIT ナイトラリーオフィシャルをサポートして（1）

九州地区幹事 山本 (制 46)

11月13日（土）～14日（日）に自動車部主催のKIT ナイトラリーが開催されました。総会準備委員会でもこれに全面協力いたしました。例年7～8人のOB がオフィシャルとして活躍していますが、ことは17名がお手伝いしてくれました。

昭和42年まで、「工大ラリー」としてディラリーで開催していましたが、参加台数も減少し、低速で計算主体の学生ラリーから、スペシャルステージを含むナイトラリーに大きく変化を計り、昭和43年に第一回の「KIT ナイトラリー」（通算第7回）をスタートさせて、今年ではや第48回を迎えるました。当時 KIT という大学の略称は一般的ではありませんでしたが、製図の授業ではよく使っていたのでナイトラリーに変わると機に「KIT ナイトラリー」に名称を変更したのを記憶しています。

私も40年ぶりに「インペク」をやりました。山奥にたった一人で4時間「車止め」役をやりましたが、楽しさと寂しさとが複雑でした。

当時とはとても大きく内容が変わってきました。第一ステージは SS、第二ステージがコースに分かれており、スタート、ゴール、SS はオートポリス

を使い約100Km のナイトラリーでした。

驚いたのは、第二ステージでは 10ヶ所の CP 誤差合計タイムが1位で15秒という正確さです。

もちろん、当時タイガー計算機一個で競技していた時からは大きく装置が変わりました。

昔は分単位、今は秒単位です。

二つ目は安全への取り組みです。これは、クラブチームACKのバックアップのおかげでしょうが、緊急時の連絡網、救急病院や、救急体制もしっかりしているようでした。ただ、残念なのは参加台数が17台と非常に少ないことです。

当時、ダンスパーティとラリーの主催は部費の大きな財源でしたが、今のKIT ナイトラリーはどれくらいの利益を上げているのか、疑問も残りました。

とにかくにも、KIT ナイトラリーの発展を期待する次第です。了



KIT ナイトラリーオフィシャルをサポートして（2）

近藤 (制 54)

現在、九州工大自動車部（KITAC）は、部員が減少しており、現役だけでは、開催困難な状況です。今回のKIT ナイトラリーも、ACK会員と共に大勢のOB が支援しました。毎年、積極的なサポートをしている地元OB をはじめ、今回は、山下さん(h1)・福田さん(h3)の呼び掛けのおかげもあり、初めて九

州地区から幹事の伊東さん、副幹事の山本さん、西原さん、山下(能)さん、さらに関東から中西さん、近藤の計6名を加えて、合計17名が駆けつけました。皆さん、御苦労さまでした。これまで、48回、毎年開催されてきました。

今後も、続くよう、現役&若手OB ガンバレ！

OB 会ホームページ開設にあたって

OB 会会長 木村 (機 36)

この度、OB 会員相互の情報交換と活動の活性化、現役自動車部の活動支援、及び ACK との連携、互恵関係の強化を目指して、HP を開設することになりました。もとより、最初から HP として完璧な形でのスタートと言う事ではありませんが、皆さんから色々なご意見、お気づきを頂きながら、より良いものに発展させて行きたいと考えています。また、記事についても、事務局からだけでなく、幅広い会員からの積極的な投稿をお願いし

ます。この HP の開設にあたっては、立上げ有志の皆さんにご尽力頂きました。深謝すると共に、今後の管理についても宜しくお願ひする次第です。会員の皆様にも、ご協力宜しくお願ひします。

(注記) 立上げ有志の皆さん：
近藤(制 54: HP 担当)、中西(加 50)、武地(機 II 51)、坂井(機 52)、江頭(金 53)、早田(子 54)、太田(制 55)、松元(機 55)、津曲(機 59)

九州工業大学自動車部 OB 会員各位
現役自動車部 部員各位
現役自動車部 支援関係各位

2010 年 11 月吉日

OB 会公式ホームページ開設のお知らせ

明專・九州工業大学自動車部 OB 会会長
木村 (機 36)

拝啓 秋も深まり、幾分寒さを感じます今日この頃、皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は、母校自動車部は元より OB 会活動に多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。さて、この度、OB 会の公式ホームページを開設することになりましたので皆様にお知らせ致します。

このホームページの開設を機に、さらに OB 会員相互の情報交換が深まり、OB 会の目的の一つでもあります“現役自動車部の発展に寄与する”ことに、貢献できれば幸いで御座います。

今後、皆様に活用して頂きながら、OB 会活動にさらなるご支援とご協力を賜りたいと存じます。

尚、公式ホームページ「明專・九州工業大学 (KIT) 貢献会自動車部 OB 会」の URL は、下記の通りです。

<http://sky.geocities.jp/jj2krx/index.html>

また、ホームページにも掲載しておりますが、【ホームページ開設にあたって】を文末に記載させて頂きます。

今後の皆様のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

* * * * * * * * *

編集部追記；住所変更は、松元 さん (機 55) t_matsumoto@sustech.co.jp にご連絡お願ひします。特に、学生の皆さんは卒業後の住所をご連絡下さい (流星などの送付に使います。個人情報として管理します)。

また、掲載記事の投稿をお待ちしています。こちらは、近藤 (制 54) さん jj2krx@quartz.ocn.ne.jp にご連絡お願ひします。

九州工大自動車部 OB 会 HP 開設の想い

近藤 (制 54)

この度、新しく HP が立ち上ることとなりました。まず、立上の経緯を説明します。

2004 年に愛知県蒲郡西浦温泉で開催された ACK 徳尾代表古希会（白倉さん(s50 卒)主催）を初め、2005 年に第 3 回 OB 会総会（中部地区主催）、2007 年に第 4 回 OB 会総会（関東地区主催）、2009 年に第 5 回 OB 会総会（関西地区主催）、とこの数年 OB 会員の活動が活発になり、それらのイベント及び学生当時の情報収集が進みました。一方、ふとしたはずみで、2008 年から、突然、スポーツクラブの HP の作成運営をすることとなりました。それまで、HP 作成の経験は全くありませんでしたが、やってみると意外に面白く、また、商売用ですから、真剣に対応しています。

少し慣れてきた頃、レベルアップを兼ねて、上記の情報を使って、私的な自動車部 OB 会 HP を作ってみました。これを見た、中西さん(s50 卒)から、公式 HP にするよう勧められました。

今年 7 月頃から、新橋の鳳龍クラブに集まって、中西さんを筆頭に、立上検討会を行っています。これまで、4 回会合しました。1 ヶ月に 1 回のペースです。参加して頂いたメンバーは、木村さん(s36)、中西さん(s50)、武地さん(s51)、坂井さん(s52)、江頭さん(s53)、早田さん(s54)、太田さん(s55)、松元さん(s55)、津曲さん(s59)と私、計 10 名の方々です。いろんな角度からの意見が出され、私のこだわり（サブページは別窓で A4 縦印刷対応、ACK ラリー情報も含む）も認めてもらなながら、楽しく討論しています。

次に、本 HP の主旨です。皆さんは、「HP の主旨」を読んだことがあるでしょうか。私は、これまで、考えたこともありませんでした。作成する上では、

「主旨」や「対象者は誰か」は、とても重要だと知りました。この HP 立上の主旨は、「現役への支援」と「ACK との連携」です。現在、九州工大自動車部は、部員減少と KIT ラリー出場車減少に悩んでおります。この問題は、全国的な傾向でもあるようです。まず、現役が元気になり、これから入部してくれる人が増えるような HP を目指しています。また、日本中の自動車部やラリーが元気になれば、更にうれしい限りです。

最後に。これまで、私を含め多くの OB 達が ACK 徳尾代表のお世話になってきました。この HP は、ACK のお役にも立つことを願っています。徳尾代表には、ぜひ、もう一度全日本ラリー開催を実現してもらいたく思っています。

最後の最後。現在、OB 会公式 HP を開設するために試行版として発信しながら 準備を進めています。OB の皆さん情報は、常に、お待ちしています。「現役の頃の思い出」「ラリーの現状」「自動車の未来」「現役へのメッセージ」・・・。

現在、自動車は曲がり角。今後の主役はガソリンか電気か。自動車部の未来はどうなる。そんな先のことより、今を大事に、ふんばって。そんな思いで開設を目指しています。



特別顧問徳尾 氏JAF名誉会員称号受賞

自動車部の特別顧問の徳尾 さん (ACK代表) が、2009年11月27日、JAF名誉委員の称号を授与されました。この称号は、モータースポーツの発展に特に著しく貢献された方に贈呈されるもので、九州では、2人目の受賞で、全国でも10数名しか受賞されていない本当に名誉な称号です。徳尾さんは、1978年から19年間JAFの活動を支援されており、長年の功績が認められたものです。

2010年2月14(日)、小倉にて、ACK会員とKIT OB・現役で、祝賀会を開催し、記念品を贈呈しました。記念品、祝賀会は全国から60名以上に賛同頂きました。ご賛同頂いた皆さん、ありがとうございました。

徳尾さん並びにACK及びKITAC (九州工業大学自動車部) の更なる活躍を期待したいと思います。



— 予告 —

平成23年自動車部OB会総会について



平成23年の総会は九州地区の担当になっておりますが、平成22年6月12日に準備委員会を設置いたしました。委員長 川崎 (S26)、副委員長 松本 (S39)、伊東 (S44) その他実行委員20名でスタートいたしました。

6月に続き、9月4日、11月20日の三回の委員会を重ねてまいりましたが、ほぼその案が纏り次通りお知らせいたします。

日時: 平成23年10月22日(土)~23日(日)

場所: 北九州八幡ロイヤルホテル

久しぶりに九州での開催になります。そこで、最近テレビ等でも盛んに名を耳にする母校の見学会を大

九州地区総会準備委員会
九州地区幹事 山本 (制46)

きなテーマにして開催したいという委員会全員の意見が纏りこれから準備していくところです。大体の予定は次のように考えています。

22日(土)

【午後】 九州工業大学戸畠キャンパス見学

【夕方】 役員会、総会、懇親会

23日(日)

ゴルフ、その他北九州市内観光 (希望者のみ)

ホテルは北九州市八幡区のスペースワールド正面に位置していますが、天然温泉となっています。これから、大学やホテルと交渉をはじめますので、若干の変更があるかもしれません。どうぞご期待下さい

【編集後記】

流星の編集者として 3 号目になった。今年は、本文中に有る通り、OB 会のホームページ（以下 HP）が立ち上がった。流星は、嘉村先輩の努力で長く OB 会、現役自動車部の活動状況をまとめ会員に伝えてきたが、速報性との観点では圧倒的に HP が優勢で、今後流星のあり方を見直す必要が有ると考えている。嘉村先輩から流星は手元に置いていつでも閲覧できるメリットが有るとのアドバイスを頂いた。継続は力。
(武)

発行日 平成 22 年 12 月 10 日
発行者 九州工業大学貢善会自動車部
主将 渡辺
明專・九州工大自動車部 OB 会
会長 木村
編集者 武地 (機 2 51)
嘉村 (化 33)
印刷所
口座番号